

シラバス

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		
担当教員	橋本、平川、福崎、田島、隈		
配当年次	2年次	開講時期	2学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2単位
準備事項			
備考			

【授業のねらい】

- ・ソーシャルワーク実習の意義を理解する。
- ・社会福祉士に求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく支援者としての姿勢を養成する。
- ・ソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、基礎的な知識・技術等を修得する。

【授業の展開計画】

1. 実習マニュアルに基づき、実習および実習指導の意義や目的、方法、留意点について理解する。
2. 専門職に求められる資質と価値、倫理等について理解する。
3. 専門職に求められる知識・技術について理解する。
4. 障害者福祉分野の指導者からの講話をもとに、利用者や施設・機関および実践活動を理解する。
5. 高齢者福祉分野の指導者からの講話をもとに、利用者や施設・機関および実践活動を理解する。
6. 児童福祉分野の指導者からの講話をもとに、利用者や施設・機関および実践活動を理解する。
7. 地域福祉分野の指導者からの講話をもとに、利用者や施設・機関および実践活動を理解する。
8. 医療機関分野の指導者からの講話をもとに、利用者や施設・機関および実践活動を理解する。
9. 実習における個人のプライバシー保護、専門職の守秘義務について理解する。
10. 見学実習の事前学習としてレポートを作成し、利用者やサービス、制度を理解する。
11. 見学実習の事前学習としてレポートを作成し、施設の法的根拠、配置される職種等を理解する。
12. 見学実習の事前学習としてレポートを作成し、地域の状況等を理解する。
13. 見学実習を通して、利用者やサービスを理解する。
14. 見学実習を通して、施設・機関や地域を理解する。
15. 見学実習の事後指導として、学習課題を確認する。

【履修上の注意事項】

ソーシャルワーク実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）等の再学習をしておくこと。

実習先への事前訪問やボランティア活動を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、ソーシャルワークの実践能力を涵養するよう予習を行うこと。

【評価方法】

指導に対する積極的応答と関与（30%）およびレポート提出・内容（70%）で評価する。

【テキスト】

【参考文献】